



# 卒業おめでとう 二年間を振り返って

## 「挑戦」



株式会社 ウィズネス内定  
文化学科 人間文化学コース2年  
谷口 咲

私が常に心がけていることは「何事も挑戦」です。この宮崎学園短期大学に入学してからも初めて受ける礼儀作法・勤労の授業など、二日一日挑戦する日々でした。その中でも大きな挑戦が就活でした。

私にとっての就活は勉強させられることばかりで、その上自分の興味のある求人があったら、すぐ行動に移さなければなりません。何度か興味のある求人の期限に間に合わず、そのたびに後悔し、その時から常に求人を見るような心かげるようになりました。

就活をしていて、一番大きな壁が面接でした。私は人前で発言することが苦手で、面接という大勢の人達の前で自分の意見を言うという場が非常に苦痛に感じました。半分の力も出さず、切らずに終わってしまうことが多く、終わるたびに自己嫌悪に陥りました。

しかしそんな時に支えてくれたのは周囲の人達でした。自分の悪い点、改善点に対するアドバイスをたくさん頂きました。また就活に対する小さな悩みへの相談にも乗ってもらい、落ちている気持ちをまた軌道に乗せて頂きました。就活は決して一人ではできません。悩むこと、つまづく事もたくさんありましたが、そのような時には周囲の人に頼ることも大切だと改めて感じました。

11月から研修として働いていますが、常に考えて行動する難しさを実感します。責任も今まで以上に大きく、社会の厳しさを痛切に感じます。辛いと思うことも多いですが、何事も挑戦という気持ちを持ってさまざまな事に挑戦できる社会人になりたいと思います。

就活は一瞬ですが、仕事は一生涯です。失敗もあると思いますが、自分の可能性を信じて、納得できるまでいろいろな事に挑戦していきましょう。

## 「音楽のもつ力」



宮崎幼稚園内定  
専攻科 専攻  
音楽療法 音楽  
鈴木 智己

宮崎学園短期大学音楽科を卒業後、専攻科音楽療法専攻に進み、このたび宮崎幼稚園より内定を頂きました。これまでの3年間で、音楽について、理論や演奏技術、演奏家としてのポリシー等、多くのことを学びましたが、その中で改めて気付きました。3年間で様々な音楽の力に出会いました。中でも一番印象に残っているのは、音楽療法の実習での出来事です。子どもたちと音楽を通してつながることができた、あの時の嬉しかった気持ちが今でも鮮明に覚えています。音楽を通して様々な人と出会い、ぶつかり合ったり自問自答を繰り返したりしながら一つ一つのを創り上げていく中で成長することができた3年間でした。

私の今の夢は子どもたちが毎日楽しみに登園できるように支援できる先生になることです。そのために、宮崎学園短期大学で学んだ音楽のもつ力を大いに活かしていこうと思います。

私は祖父母のことが好きで高齢者と話すことが楽しいと思いい、以前からの希望通り専攻科福祉専攻に進学しました。しかし、授業や実習が始まると不安に押しつぶされそうになり、自分には介護は向いていないのではないかと考えたこともありました。高齢者が好きという気持ちだけではやっていけない職業だということも改めて実感しました。そのような気持ちの中でも、実習を重ねるうちに、専門的知識の言葉に励まされ、いつかは介護の仕事に就きたいという思いが芽生ええました。

卒業後は保育士の仕事を選択しましたが、この専攻科での学びは保育の現場に進む自分の大きな自信につながると思います。

これからは、この学びをしっかり仕事として役立て、また、これまで支援していただいた方々への恩返しと思いい、努力していきたいと思っています。

## 「夢への一歩」



ふたば保育園内定  
専攻科 専攻  
福祉 福祉  
井田 望月

私は祖父母のことが好きで高齢者と話すことが楽しいと思いい、以前からの希望通り専攻科福祉専攻に進学しました。しかし、授業や実習が始まると不安に押しつぶされそうになり、自分には介護は向いていないのではないかと考えたこともありました。高齢者が好きという気持ちだけではやっていけない職業だということも改めて実感しました。そのような気持ちの中でも、実習を重ねるうちに、専門的知識の言葉に励まされ、いつかは介護の仕事に就きたいという思いが芽生ええました。

卒業後は保育士の仕事を選択しましたが、この専攻科での学びは保育の現場に進む自分の大きな自信につながると思います。

これからは、この学びをしっかり仕事として役立て、また、これまで支援していただいた方々への恩返しと思いい、努力していきたいと思っています。

「まっかなお鼻の」という歌声でサンタやトナカイが登場し、盛大に開かれたクリスマス会。歌やダンスをはじめ、寮生の得意分野を生かした発表や、チーム対抗のクイズ大会など、全員で楽しい時間を過ごすことができました。



## 宮崎学園フェスティバル大盛況

本学で展開されている教育内容を広く県民の皆様にご紹介すると共に、教育的な遊びを通して皆様方のお役に立ちたいと、今年も4日間にわたる短大フェスティバルを開催いたしました。

特色ある各学科からのプログラムで、大盛況のうちに終了することができました。

- 保育科 10月22日(土) 本学交流センター
- 保育科 12月3日(土) イオン宮崎イオンホール
- 初等教育科・人間文化学科 12月11日(日) イオン宮崎イオンホール
- 音楽科 10月20日(土) 大坪記念ホール

## 吹奏楽、合唱、ソロ、今年も大活躍!



吹奏楽部は、県大会堂々1位の成績で九州大会銀賞!合唱団は全国への切符は逃したものの九州大会金賞!個人では、鳥越実咲さん(研究生)が宮崎ピアノコンクールで優秀賞、日本クラシックコンクール全国大会(ピアノ)で奨励賞を受賞。1年生も、日本クラシック音楽コンクールで、清家あかりさん(サクソフォン)、弓削なつみさん(フルート)、横山夏美さん(ピアノ)の3名が予選を通過し、本選に出場します!



## 心に残るキャンパスライフ

## 夢に向かって頑張れ

当時、高校二年生だった娘は、自分の進路を決めかね悩んでいました。周りの友達が決めていく中、先が見えずに毎日を過ごしている様でした。

そんな娘に対して、何のアドバイスもしてあげられず、母親としても悩む日々でした。

そんなある日、「私、宮崎学園短大のオープンキャンパスに行ってみようかな?」と言うので、「そこは、お母さんが卒業した学校だし、短大がどういふ所なのか見に行ってみるのもいいかもしれないね」という話になり、早速オープンキャンパス参加に申し込みました。

その日の様子を詳しく聞くと、学校の先生方の対応がとても良く、親切にして下さった事がうれしかったのだそうです。晴れて、希望する学校に入学し学生生活を送っているのですが、今まで以上に共通の話題も出来、お互いに情報交換したりできるのが楽しい日々になりました。

これから、様々な施設での実習が始まりますが、受け身にならず積極的に取り組む、貴重な体験を沢山してほしいと思います。

## 目標は「お母さん」

私が宮崎学園短期大学に進学した理由は、母のような保育士になりたいからからです。母は、宮崎女子短期大学(当時の卒業生で、現在も保育士として働いています。私が保育士になりたいと決めた時から、母は私のことを応援してくれています。時には先輩としてアドバイスをしてくれたり、時には学友のように励ましてくれます。学生時代の話や保育現場での話を沢山してくれるので、とても参考になるし、毎日充実したキャンパスライフを送ることができました。

母は明るく前向きな性格で、いつも寄り添ってくれているので信頼しています。きっと保育園でも子どもたちの心の拠り所となるような存在なのでしょう。毎日、朝早くから夜遅くまで仕事をさきらんとこなしている母を、心から尊敬しています。私にとって母は目標であり、夢でもあります。夢に向かって、毎日を大切にしたいです。

父母が本学に在学又は卒業している者は、入学金の半額(10万円)が免除されます。 ※親、兄弟姉妹等奨学生(表面参照)

## 親子二代記

昭和60年保育科卒業 木原優子

